

ダッシュボード Dashboard







本文の内容は、Dashboardsのドキュメント

(<u>https://docs.sysdig.com/en/dashboards.html</u>)を元に日本語に翻訳・再構成した内容 となっております。

ダッシュボード	7
ダッシュボードスコープ	8
ダッシュボードスコープを設定する	8
パネルスコープを設定する	10
ダッシュボードの管理	12
ダッシュボードの整理	12
デフォルトのダッシュボードを設定する	12
ダッシュボード固有のイベントを表示する	12
ダッシュボードを共有する	14
ダッシュボードを現在のチームと共有する	15
ダッシュボードをチームにコピーする	16
パブリックURLを介してダッシュボードを共有する	16
ダッシュボードを設定する	17
プレビルドダッシュボード	17
新しいダッシュボードを作成する	18
Exploreタブから	18
ウィザードで	19
ダッシュボードレイアウトの設定	20
フルスクリーンを設定する	20





パネルサイズの設定	21
個々のパネルを設定する	21
すべてのパネルを設定する	21
パネルを移動する	21
パネルの設定	22
パネルを作成する	22
新しいパネルを作成する	22
パネルを複製する	23
パネルの種類	23
ライン	23
エリア	25
トップリスト	25
ヒストグラム	26
トポロジー	26
ナンバー	27
テーブル	28
テキスト	28
テキストパネルのマークダウン	29
ヘッダー	29
強調	29
リスト	29
改行	29
パネルを管理する	30





パネルを別のダッシュボードにコピーする	30
単一のパネルをコピーする	30
すべてのパネルをコピー	31
パネルアラートを作成する	32
パネルデータのエクスポート	32
CSVをエクスポート	32
JSONをエクスポート	33
既存のパネルを削除する	33
トポロジビューを使用したメトリクスの視覚化	34
トポロジビューについて	35
トポロジビューの設定	36
Exploreからのアクセス	36
ダッシュボードからのアクセス	37
トポロジビューをパネルとして追加する	37
トポロジビューのダッシュボードを作成する	38
事前定義されたダッシュボード	39
アプリケーションダッシュボード	39
コンプライアンスダッシュボード	42
ホストとコンテナのダッシュボード	43
ネットワークダッシュボード	45
Kubernetesリソース使用率ダッシュボード	46
Kubernetes State ダッシュボード	51
サービスダッシュボード	53





トポロジーダッシュボード	53
新規ダッシュボード	54
新しいダッシュボー ドUIについて	55
ウィジェット	55
タイムナビゲーション	55
プリセット	55
範囲	56
ライブ	57
タイムフォーマット	57
パネルのプロパティ	58
クエリ	58
フォームベースのクエリ	58
高度なクエリ	58
軸を定義する	59
凡例を定義する	60
パネルを定義	60
新しいダッシュボードを設定する	61
単純なクエリの構築	62
高度なクエリの構築	64
PromQLを使用する	66
PromQLを使用するためのガイドライン	66
クエリの構築	67
PromQLクエリを構築する	67





スク	リプトを使用してダッシュボードを保存および復元する	69
Ē	前提条件	69
;	スクリプトをダウンロードする	70
F	Pythonスクリプトですべてのダッシュボードを保存する	70
F	Pythonスクリプトを使用してダッシュボードを復元する	71







Sysdigユーザーは、カスタマイズされたダッシュボードを作成して、単一の場所でインフラストラク チャーの最も有用な/関連するビューとメトリクスを表示できます。各ダッシュボードは、特定のデー タをさまざまな形式で表示するように構成された一連のパネルで構成されています。



ダッシュボードとパネルがどのように作成、整理、管理されるかについては、次のセクションをご覧 ください。

- ダッシュボードスコープ
- ダッシュボードの管理
- ダッシュボードを設定する





- パネルの設定
- トポロジビューを使用したメトリクスの視覚化
- 事前定義されたダッシュボード
- スクリプトを使用してダッシュボードを保存および復元する
- 新規ダッシュボード
- PromQLを使用する

ダッシュボードスコープ

ダッシュボードおよびパネルスコープは、ダッシュボード内の集計および表示に有効なデータを定義 します。 スコープは、ダッシュボード全体のレベルで設定するか、表示専用ユーザーを除くユーザー タイプごとに個別のパネルで上書きできます。

現在のスコープは、モジュール画面の左上隅に表示されます。

Network Overview (Stacked)		+ :
Everywhere		Edit Scope
Total Network Bytes	In Network Bytes	Out Network Bytes
37.6 _{K0B/s}	13.9 _{KB/s}	23.7 _{KB/s}

ダッシュボードスコープを設定する

既存のダッシュボードのスコープを構成するには:

- ダッシュボードモジュールから、ダッシュボードリストから関連するダッシュボードを選択し ます。
- 2. モジュール画面の右上にある[Edit Scope]リンクをクリックします。



Network Overview (Stacked)			+ :
Everywhere			Edit Scope
Total Network Bytes	In Network Bytes	Out Network Bytes	
37.6 KiB/s	13.9 ків/s	23.7 KiB/s	

- 3. 最初のレベルのドロップダウンメニューを開きます。
- 目的のラベルをクリックするか、ラベルを検索してクリックすることにより、第1レベルのラベルを選択します。
- 値とラベルの関係を定義し、値を定義します。
 スコープエディターは、選択したラベルに固有の値をレンダリングすることにより、後続の フィルターの選択範囲を制限します。たとえば、kubernetes.namespace.nameラベルの値が kube-systemである場合、後続のラベル、container.nameの値はkube-systemによってフィル ターされます。これは、フィルタリング用にレンダリングされるコンテナは、kube-system ネームスペースの一部であるコンテナのみであることを意味します。
- オプション:ダッシュボードのテンプレート ダッシュボードのスコープ値は変数として定義できるため、ユーザーはテンプレートを作成 し、複数の出力に1つのダッシュボードを使用できます。たとえば、次のイメージでは、 kubernetes.namespace.nameラベルが変数として設定されています。



- 7. オプション:ラベル/値の組み合わせを追加して、スコープをさらに絞り込みます。
- 8. [Save]ボタンをクリックして新しいスコープを保存するか、[Cancel]ボタンをクリックして変更 を元に戻します。





ダッシュボードのスコープをインフラストラクチャ全体にリセットするか、既存のダッシュ ボードのスコープをインフラストラクチャ全体に更新するには、最初のスコープドロップダウ ンメニューを開き、すべての場所を選択します。

パネルスコープを設定する

既存のダッシュボードパネルのスコープを設定するには:

- ダッシュボードモジュールから、ダッシュボードリストから関連するダッシュボードを選択し ます。
- 2. 目的のパネルにカーソルを合わせ、Edit(鉛筆)アイコンを選択します。



3. [Override Dashboard Scope]リンクをクリックして、カスタムパネルスコープを有効にしま す。





Total Network Bytes					
~	Ξ μμ € # Ξ Τ				
Metric	net.bytes.total 🗸 RATE -				
Scope	Override Dashboard Scope				
Compare to	Configure				
Color Coding	Global Color Coding Override Color Coding				
	Cancel Save				

個々のパネルスコープをデフォルトのダッシュボードスコープに戻すには、[Default to Dashboard Scope]リンクをクリックして、変更を保存します。

- 4. [scope]ドロップダウンメニューを開きます。
- 5. 新しいスコープを選択するか、目的のスコープを検索して選択します。
- [save]ボタンをクリックして、変更を確認します。
 カスタムスコープ(ダッシュボード全体とは異なるスコープ)があるパネルには、影付きの コーナーが付いています:







ダッシュボードの管理

このセクションは、ダッシュボードを効果的に使用し、チームと共有するのに役立ちます。

ダッシュボードの整理

ダッシュボードは、3つの主要なグループに分類されます。

- My Dashboards:現在のユーザーが作成したダッシュボード。
- My Shared Dashboards:現在のユーザーが作成し、他のユーザーと共有するダッシュボード。
- Dashboards Shared With Me: 他のユーザーが作成し、現在のユーザーと共有しているダッシュボード。

デフォルトのダッシュボードを設定する

デフォルトのダッシュボードを設定すると、チームのデフォルトのエントリポイントを設定し、チームのSysdig Monitorエクスペリエンスを統合し、ユーザーが最も関連性の高い情報に即座に注意を集中できるようになります。 デフォルトのエントリポイントの設定の詳細については、Sysdigプラットフォームドキュメントの「エントリページまたはチームのダッシュボードの設定」セクションを参照してください。

ダッシュボード固有のイベントを表示する

Sysdig Monitorを使用すると、ユーザーはダッシュボードを設定して、パネル自体にダッシュボードの パネルに関連するインフラストラクチャイベントを表示できます。これにより、ユーザーは環境の状態をさらに詳細に表示できます。イベントの表示方法を構成するには:

- 1. [Dashboard]タブで、ダッシュボードリストから関連するダッシュボードを選択します。
- 2. ダッシュボード設定(3つのドット)アイコンをクリックし、イベントを選択します。







3. [Show Events]スライダーを有効にして、ダッシュボードパネルにイベントを表示します。

Q Search for events or tags	
Show max 1000 events	
Include Events Related to:	
All metrics	
All scopes	
Filter Events by:	
Event Type 🕼	
Both custom events and alerts	•
State 😡	
Both active and OK	•
Severity @	
All severity levels	•
Resolution @	

4. 使用可能なパラメーターを構成し、[close]ボタンをクリックします。

オプション 説明





Event or Tag Search Bar	表示する特定のイベントまたはイベントの範囲を定義します。
Show max	パネルに表示するイベントの最大数を定義します。
Include events related to	表示されるイベントの範囲にすべてのメトリクス/スコープのイベント が含まれるかどうかを決定します。
Event Type	カスタムイベント、アラート、またはその両方を表示します。
State	表示されるイベントの状態を決定します。
Severity	重大度の高いイベントのみを表示するか、すべてのイベントを表示す るかを決定します。
Resolution	すべてのイベント、または解決済み/未解決のイベントのみを表示する かどうかを決定します。

ダッシュボードを共有する

ダッシュボードは、ダッシュボードのパブリックURLを設定することにより、チームメンバー間で内部 的に、より広い組織内で、またはパブリックに共有できます。以下の表は、ダッシュボードを共有で きるさまざまな方法と、ユーザーのさまざまな権限の概要を示しています。

	誰が共有/コピー できるか	ダッシュボード インスタンス	アクセスできる チーム/ユーザー	読める	編集出来る
現在のチー ムと共有す る	ダッシュボード作 成者	同じダッシュ ボードインスタ ンス	現在のチームメン バーのみ	チームのすべて のメンバー	チームのユー ザーを編集する
URLとして 一般公開	チームの編集ユー ザー	同じダッシュ ボードインスタ ンス	URLを知っている 人(Sysdigユー ザーは必要ありま せん)	誰でも	スコープ変数を 持つURL(Sysdigユーザー による必要はあ りません)を持 つすべての人





現在のチー	チームの編集ユー	ダッシュボード	現在のチームメン	チームのすべて	チームのユー
ムにコピー	ザー	の複製コピー	バーのみ	のメンバー	ザーを編集する
別のチーム にコピー	チームの編集ユー ザー	ダッシュボード の複製コピー	元のダッシュボー ドが共有されてい ない場合、コピー したユーザーのみ がアクセスできま ず。元のダッシュ ボードが共有され ている場合、チー ムのすべてのチー ムメンバーがアク セスできます	チームのすべて のメンバー (ダッシュボー ドを共有してか らコピーする場 合)	チームのユー ザーを編集する (ダッシュボー ドを共有してか らコピーする場 合)

ダッシュボードを現在のチームと共有する

ダッシュボードはユーザーの現在のチーム全体で共有できるため、他のチームメンバーがダッシュ ボードを表示できるだけでなく、チーム内で編集権限がある場合はパネルを編集できます。 ダッシュ ボードを共有するには:

- 1. [Dashboards]タブに移動します。
- 2. 左側のパネルからダッシュボードを選択します。
- 3. [Settings](3つのドット)アイコンを選択し、[Share]をクリックします。
- 4. [Share with Team]スライダーを切り替えて、ダッシュボードを現在のチームと共有します。





有効にすると、ダッシュボードはリンクを持つすべてのユーザーにスコープパラメーターと共に表示 されます。この設定を無効にすると、リンクは機能しなくなります。ダッシュボードにアクセスする には、設定を再度有効にして再度共有する必要があります。

ダッシュボードをチームにコピーする

ダッシュボードの共有とは異なり、ダッシュボードをコピーすると、元のダッシュボードを編集/表示 できるようにするのではなく、複製が作成されます。

ダッシュボードをコピーするには:

- 1. [Dashboards]タブに移動します。
- 2. 左側のパネルからダッシュボードを選択します。
- 3. [Settings]アイコンをクリックし、ドロップダウンリストから[Copy Dashboard]を選択します。
- 4. <u>Current Team</u>またはOther Team(s)を選択して、ダッシュボードをそれらのチームにコピーし ます。

注意

ダッシュボードを別のチームにコピーする場合は、ドロップダウンメニューを開き、関連す るチェックボックスを選択します。 このオプションでは、複数のチームを選択できます。

- 5. 必要に応じて、ダッシュボードの名前を変更します。
- 6. [Copy and Open / Send Copy]ボタンをクリックして、変更を保存します。

パブリックURLを介してダッシュボードを共有する

ダッシュボードは、パブリックURLを使用して内部チームの外部で共有できます。 これにより、外部 ユーザーはダッシュボードのメトリクスを確認しながら、パネルと構成の変更へのアクセスを制限で きます。

スコープ変数を含むスコープパラメーターは、ダッシュボードURLに含まれています。 有効なリンク を持つ外部ユーザーは、サインインすることなくスコープパラメーターを変更できます。ユーザー は、UIまたはURLで編集できます。 スコープパラメーターは、疑問符の後にパラメーター名、等号、





パラメーター値が続く標準リクエストヘッダーに渡されます。URLのパラメーターを編集するには、 目的のパラメーターに置き換えるだけです。

ダッシュボードを共有するには:

- 1. [Dashboards]タブに移動します。
- 2. 左側のパネルからダッシュボードを選択します。
- 3. [Settings]アイコンを選択し、[Share]をクリックします。
- 4. [Share Public URL]スライダーを切り替えて、カスタムパブリックURLを表示します。

警告

有効にすると、ダッシュボードはリンクを持つすべてのユーザーにスコープパラメーターと 共に表示されます。 この設定を無効にすると、リンクは機能しなくなります。ダッシュボー ドにアクセスするには、設定を再度有効にして再度共有する必要があります。

5. 公開URLをコピーして共有します。

ダッシュボードを設定する

ダッシュボードの作成には、ダッシュボード自体の作成と、情報を表示するパネルの作成という2つの 部分があります。

プレビルドダッシュボード

Sysdigは、サポートされているさまざまなアプリケーション、ネットワークトポロジー、インフラスト ラクチャレイアウト、およびサービスを中心に設計された、事前に構築された多数のダッシュボード を提供します。これらは、さらに設定するためのテンプレートとして、ダッシュボード構築プロセス を開始するために使用できます。プレビルドダッシュボードには、最も関連性の高いユーザーの情報 に基づいて、すでに設定された一連のパネルが付属しています。以下の例では、Network Overview ダッシュボードテンプレートを使用しています。





デフォルトのダッシュボードには、合計、ネットワーク内、およびネットワーク外のバイトの数値パ ネル、ネットワーク内とネットワーク外のバイトを比較する折れ線グラフ、およびアプリケーション/ ポート、プロセス、ホストごとのバイト使用量が含まれます。

新しいダッシュボードを作成する

Exploreタブから

[Explore]タブからダッシュボードを作成するには:

- 現在のダッシュボードまたはダッシュボード内のパネルの設定(3つのドット)アイコンをクリックします。
- 2. 手順1で選択したアイコンに応じて、[Copy to Dashboard]または[Copy Panel]を選択します。

オプション1:







オプション2:



3. 新しいダッシュボードの名前を定義し、[Copy and Open]ボタンをクリックして新しいダッシュ ボードを保存します。

ウィザードで ダッシュボードウィザードでダッシュボードを作成するには、





1. [Dashboards]タブで、[Add Dashboard]ボタンをクリックします。

ζ pearch for applic	ation, infrastructure, sy	stem and network view	WS	-			
op Dashboards						Do It Yourself	
				Java	\bigcirc	4	
Overview by Container	Overview by Host	Overview by Process	Container Limits	MVL	HTTP	Blank Dashboard	
pplications							
ActiveMQ	the		Couchbase	CouchDB	🛟 elastic	øetcd	fluentd
ActiveMQ	Apache	Consul	Couchbase	Apache CouchDB	Elasticsearch	etcd	Fluentd
*Common	10.00 P		*	京都警	/		E.

- 事前に作成されたダッシュボードを選択するか、Blank Dashboardを選択してゼロから作成し ます。
- 3. ダッシュボードの名前を定義し、[Create Dashboard]ボタンをクリックします。

これで、新しいダッシュボードが[My Dashboards]の下のサイドパネルに追加され、構成の準備が整い ます。

ダッシュボードレイアウトの設定

フルスクリーンを設定する

現在のダッシュボードをフルスクリーンモードで表示するには:

ダッシュボードの[Settings](3つのドット)アイコンをクリックし、[Fullscreen]オプションを選択 します。

Netw	ork Overview	+ [:
Scope:	Entire Infrastructure	Set	ttin





注意

ダッシュボードはフルスクリーンモードで構成できません-フルスクリーンモードが終了するまで、 読み取り専用です。

フルスクリーンモードを終了するには、ESCキーボードキーを押すか、終了(十字)アイコンをク リックします。

パネルサイズの設定

個々のパネルを設定する

個々のパネルのサイズを変更するには、マウスカーソルをパネルの右下隅に移動し、斜めのサイズ変 更カーソルが表示されるまで、マウスの左ボタンを押したまま、カーソルを移動してパネルのサイズ を増減します。押しながら。[Save Layout]リンクをクリックして変更を保存するか、[Revert Changes]リンクをクリックして元に戻すことができます。

すべてのパネルを設定する

ダッシュボードのすべてのパネルのサイズを構成するには:

- 1. [Dashboards]タブで、左側のパネルから関連するダッシュボードを選択します。
- 2. ダッシュボードの設定(3つのドット)アイコンをクリックします。
- 3. [Layout]を選択して、ドロップダウンメニューを開きます。
- 4. 目的のパネルサイズを選択します。
- 5. 新しいサイズが正しい場合は、[save Layout]リンクをクリックします。それ以外の場合は、 「Revert Changes」を選択します。

この設定を構成すると、すべてのカスタムパネルサイズがオーバーライドされます。

パネルを移動する

注意





パネルをダッシュボードの新しい位置に移動するには、マウスカーソルをパネルの上部に移動して、 ハンドカーソルを表示します。マウスの左ボタンを押したまま、ボタンを押しながらカーソルを移動 してパネルを移動します。[Save Layout]リンクをクリックして変更を保存するか、[Revert Changes] リンクをクリックして元に戻すことができます。

既存のダッシュボードを削除するには:

- 1. [Dashboards]タブで、左側のパネルから関連するダッシュボードを選択します。
- 2. ダッシュボードの設定(3つのドット)アイコンをクリックします。
- 3. [Delete Dashboard]を選択します。
- 4. [Yes, Delete Dashboard]ボタンをクリックして、変更を確認します。

パネルの設定

パネルを作成する

新しいパネルを作成する

事前作成されたダッシュボードの構成の詳細については、ダッシュボードの設定を参照してください。

ダッシュボードに新しいパネルを追加するには:

- 1. [Dashboards]タブで、左側のパネルから関連するダッシュボードを選択します。
- [Add Panel] (クロス) アイコンをクリックします。
 ブランクダッシュボードを構成している場合、使用可能なパネルタイプが表示され、パネルの 追加アイコンをクリックするのではなく、直接選択できます。





lank Da	shboard				+
cope: Entire	e Infrastructure				
		New	Panel		
	~		=	ah	
	Line View trends over time for one or more metrics with this line chart.	Area View trends over time for one or more metrics with this stacked area chart.	Top List Compare a metric across groups of entities with this bar chart sorted in descending order.	Histogram View the frequency distribution of a metric in buckets.	
	Fopology Visualize your infrastructure as a map and view the relations between	Number View a single number that represents an aggregated metric	Table Display numerical data for your infrastructure based on metrics and	Text A simple text panel with markdown support	

3. パネルタイプを選択します。

My Pane	el (6)					
~		=	վև	#	1	Т

- オプション:パネル名をクリックして変更します。名前を編集したら、パネルの他の場所をクリックして変更を保存します。
- パネルの関連するスコープ、セグメンテーション、およびメトリクスをします。
 各タイプのパネルについては、「パネルタイプ」セクションを参照してください。
- 6. [Save]ボタンをクリックして、新しいパネルを作成します。

パネルを複製する

目的のパネルにカーソルを合わせ、Settings (ellipsis) アイコンをクリックして、[Duplicate Panel]を選択します。

パネルの種類

ライン





ラインパネルは、ユーザーが現在の値と履歴値を比較できるようにすることで、他のパネルタイプに 追加機能を提供します。



以下のイメージは、6時間前の値と比較した現在のnet.http.request.countレートを示しています。







エリア



トップリスト

Request Count	Request Count
- ip-10-0-1-139.ec2.internal	~ ▲ F 🔟 🕂 # 🗉 T
- ip-10-0-1-152.ec2.internal	
- ip-10-0-2-240.ec2.internal	
-gke-dev-pool-1-14a41d4b-11kz	Metrics net.http.request.count - RATE -
gke-dev-pool-1-14a41d4b-40rc	Multiple metrics unavailable when segmentation is configured.
- gke-dev-pool-1-14a41d4b-kh10	Scope everywhere 🗸
- ip-10-0-3-74.ec2.internal	Default to Dashboard Scope
- ip-172-31-21-188	Segment by host.hostName 🗸 🗙
Abautabia Obara	
Time: The rate of this metric is computed for each entity over 1 hr (at 1 mi	

Time: The rate of this metric is computed for each entity over 1 hr (at 1 mi... Group: For each host.hostName the results are averaged over the scope ... Note: net.http.request.count is a heuristic based calculation. Please refer ...



Cancel

Save



ヒストグラム



dh # -Metrics net.http.request.count 🚽 RATE everywhere Scope * Default to Dashboard Scope Segment by host.hostName -X-Axis Range 💿 Min: 0 Max: auto Save Cancel

 \leftarrow

մև

#

Т

Save

Cancel

About this Chart

Time: The rate of this metric is computed for each entity over 1 hr (at 1 mi... Group: For each host.hostName the results are averaged over the scope. Note: net.http.request.count is a heuristic based calculation. Please refer ...

トポロジー

Request Count



Metric net.http.request.count - RATE -Link Metric none -Group by O ADD TAG Scope O everywhere -X Customizations not currently available for this panel type.

Request Count

Request Count

×

About this Chart Time: The rate of this metric is computed for each entity over 1 hr (at 1 mi... Group: The results are then averaged over the scope.

Note: net.http.request.count is a heuristic based calculation. Please refer ...





ナンバー

数字パネルは、ユーザーが現在の値を履歴値と比較できるようにすることで、他のパネルタイプに追 加機能を提供します。

Request Count	Request Count				
		〒h. ← # Ⅲ T			
12.7 /s	Metric	net.http.request.count 🗸 RATE -			
	Scope	Override Dashboard Scope			
	Compare to	Configure			
	Color Coding	Global Color Coding			
About this Chart X Time: The rate of this metric is computed for each entity over 1 hr (at 1 mi.)					
Group: The results are then averaged over the scope. Note: net.http.request.count is a heuristic based calculation. Please refer		Cancel Save			

以下のイメージは、2時間前の値と比較したnet.http.request.countの値を示しています。

Request Count	Request Col	unt		
	~	1 = .ll.	-< #	≡ T
	Metric	net.http.request.count	▼ RATE -	auto (auto) -
	Scope Compare to	Override Dashboard Sc 2	rope → ago ×	
	Color Coding	Global Color Coding Override Color Coding		
-2.42 /s compared to 2 hours ago				
About this Chart Time: The rate of this metric is computed for each entity over 1 hr (at 1 min intervals). Grow: The results are then averaged over the score.	¢			
Note: net.http:request.count is a heuristic based calculation. Please refer here to learn more. Compare to: The dotted line shows metric values from 2 hours ago			[Cancel Save





テーブル

テキストパネルには、カスタムマークダウン形式のテキストが表示されます。

Request Count		Request Count
Hostname	HTTP request count	
ip-10-0-1-139.ec2.internal	40.3	
ip-10-0-1-152.ec2.internal	11.1	
ip-10-0-2-240.ec2.internal	3.6	Segment by 👩 host.hostName 👻
gke-dev-pool-1-14a41d4b-11kz	2.1	Add another
gke-dev-pool-1-14a41d4b-40rc	2.0	
gke-dev-pool-1-14a41d4b-kh10	1.3	Metrics Onet.http.request.count - RATE -
ip-10-0-3-74.ec2.internal	0.2	Select a metric
K K showing 1 - 7 of 8 entrie	s > >I	Scope Override Dashboard Scope
About this Chart Time: The rate of this metric is computed for ear Group: For each host.hostName the results are Note: net.http.request.count is a heuristic based	× ch entity over 1 hr (at 1 mi averaged over the scope. calculation. Please refer	Cancel Save

テキスト

r

次の例では、手順のテスト手順のリマインダーリストとしてテキストパネルを使用しています。

Example Text Panel	Request Count
Test Process: 1. Step One 2. Step Two 3. Step Three	
	Content # Example Text Panel _Test Process:_ 1. Step One 2. Step Two 3. Step Three Supports markdown (more info) 77 / 500
	Cancel Save





テキストパネルのマークダウン

ヘッダー

H1 ====== H2 	# H1 ## H2 ### H3 #### H4 ##### H5 ###### H6		
	H1 ====== H2 		

強調

italics or _italics_ **bold** or __bold__ **combined _emphasis_** ~~strikethrough~~

リスト

First ordered list item
 Second item

 * Unordered sub-list.
 Sub-paragraph within the list item.
 Third item
 First ordered sub-list item.

 103. Fourth item

一般的なガイドライン:

- リスト項目番号は重要ではありません。以下の例に示すように、フォーマットはリストを定義します。
- リスト項目には、空白を使用して適切にインデントされた段落を含めることができます。
- 番号なしリストには、*、-、または+を使用できます。





改行

This is the first sentence.

This line is separated from the one above by two newlines, so it will be a *separate paragraph*.

This line is also a separate paragraph. This line is only separated by a single newline, so it's a separate line in the *same paragraph*.

注意

新しい段落を作成せずに、改行に末尾のスペースを使用できます。 この動作は、末尾のスペースが 不要な一般的なGFM改行動作とは異なります。

パネルを管理する

パネルを別のダッシュボードにコピーする

単一のパネルをコピーする

単一のパネルを別のダッシュボードにコピーするには:

- 1. [Explore]タブから、目的のドリルダウンビューを選択します。
- 2. 目的のパネルにカーソルを合わせ、設定(省略記号)アイコンを選択し、[Copy Panel]を選択 します。

CPU Shares Used	10 minutes : 😑	CPU Quota Used
100 % -	Copy panels to a new or existing das Enter dashboard name	shboard
Mon 25 03 A Time: Rate Group: Average Metric: cpu.sh	Cancel Copy and	Mon 25
Memory Limit Used		Memory Limit





 ドロップダウンメニューを開き、目的のダッシュボードを選択するか、テキストフィールドを 使用して既存のダッシュボードを検索します。

	Avg. CPU % :	Avg. Memory Us				
С	opy panels to a new or existing	dashboard				
E	nter dashboard name	•				
	Top Processes					
	HTTP Overview					
	Overview by Host	en				
-	Overview by Container					
	Network Overview					
	Overview by Process ^{03 AM}					
	[Kubernetes] Pods					

注意 パネルを新しいダッシュボードにコピーするには、代わりにテキストフィールドに新しい ダッシュボードの名前を入力します。

4. [Copy and Open]ボタンをクリックして、変更を保存し、構成されたダッシュボードに移動します。

すべてのパネルをコピー

ドリルダウンビューのすべてのパネルをダッシュボードにコピーするには:

- 1. [Explore]タブから、目的のドリルダウンビューを選択します。
- 2. [More Options] (3つのドット) アイコンを選択します。



3. [Copy to Dashboard]を選択します。

Overview by Ho	st 💌				: ×
Scope: kubernetes.cluster.i	d = '3c321ae3-1e50-11e8-8c18	3-42010a80020b'			Copy panels to a new or existing dashboard
Avg. CPU % 6.26%	Avg. Memory Us 0.59 %	Avg. Network Byt 4.75 kiB/s	Avg. Network Co 0.87 /s	A	Enter dashboard name Top Processes HTTP Overview Overview en
CPU %			Memory Usage %	l	Overview by Host Overview by Container Network Overview
100 %			100 %		Overview by Process [Kubernetes] Pods

 ドロップダウンメニューを開き、目的のダッシュボードを選択するか、テキストフィールドを 使用して既存のダッシュボードを検索します。

パネルを新しいダッシュボードにコピーするには、代わりにテキストフィールドに新しいダッ シュボードの名前を入力します。

5. [Copy and Open]ボタンをクリックして、変更を保存し、構成されたダッシュボードに移動します。

パネルアラートを作成する

アラートはダッシュボードパネルから直接作成できます。

- 1. [More Options] (3つのドット) アイコンをクリックします。
- 2. CreateAlertを選択します。
- 3. アラートを構成し、「Create」ボタンをクリックします。

パネルデータのエクスポート

一部のパネルタイプでは、CSVまたはJSONファイルを介してデータをエクスポートできます。

- CSVファイルは、表および折れ線グラフ用にダウンロードできます。
- JSONファイルは、折れ線グラフ用にダウンロードできます。

CSVをエクスポート

メトリクスのCSVをエクスポートするには:

1. [Explore]タブで、目的のドリルダウンビューに移動します。





2. 目的のパネルにカーソルを合わせ、[Settings](3つのドット)アイコンを選択し、ドロップダ ウンメニューから[Export CSV]を選択します。

CSVファイルがローカルマシンに自動的にダウンロードされます。

JSONをエクスポート

メトリクスのJSONをエクスポートするには:

- 1. [Explore]タブで、目的のドリルダウンビューに移動します。
- 目的のパネルにカーソルを合わせ、Settings (3つのドット)アイコンを選択し、ドロップダウンメニューから[Export JSON]を選択します。

JSONファイルがローカルマシンに自動的にダウンロードされます。

既存のパネルを削除する

ダッシュボードからパネルを削除するには:

- 目的のパネルにカーソルを合わせ、Settings (省略記号)アイコンをクリックして、[Delete Panel]を選択します。
- 2. [<u>ves, delete</u>]ボタンをクリックして確認するか、[<u>Cancel</u>]ボタンをクリックしてパネルを保持 します。





トポロジビューを使用したメトリクスの視覚化

トポロジビューは、システム内のさまざまなコンポーネントがリアルタイムで相互にどのように相互 作用するかを視覚化するインタラクティブなアニメーションインターフェイスを提供します。イン ターフェイスはデフォルトで、選択したホストの上位プロセスと、リモートホストまたはホストグ ループ上のプロセスとの相互作用をレンダリングします。有効な論理グループのエンティティは、ト ポロジビューで視覚的に表すことができます。相互作用はノードとリンクとして表されます。リンク はノードを接続します。ノードとリンクは、左から放射状に広がります。

ノード:ネットワーク通信に参加しているエンティティ。ノードは、プロセス、コンテナ、ホスト、またはSysdig Agentによって識別される任意のラベルです。例: kubernetes.pod.name

Explore		
🚍 🔻 🍥 Deployments 👻	III CPU Usage 👻 🗄 🕹	<
Q Search environment	Scope: kubernetes.namespace.name = 'example-java-app'	3
 Construction of the second seco	CPU Usage example_ 1.19% 5	
Back to Explore Table	*	
	LIVE: 1:50 pm - 2:50 pm (1 H) ^{**} PDT 10 S 1 M 10 M 1 H 6 H 1 D 2 W CUSTOM H II H - ZOOM 2x +	

● リンク:ノード間のネットワーク接続

ホストとその子プロセス(host.hostName> proc.name)は、トポロジビューのデフォルトグループとして機能します。トポロジビューのスケーリングは、プロセスと接続の数によって制限されます。





Sysdig Monitorは、システムコールデータから派生したネットワークエンドポイント(IPアドレス)を 識別することにより、トポロジビューを作成します。

[Explore]タブの[Topology View]には、CPU使用率、ネットワークトラフィック、およびレスポンス タイムのメトリクスを表す定義済みのダッシュボードが用意されているため、設定はできません。 こ れは、ボトムアップのプロセス間接続メトリクスをグラフとして提供するテンプレート診断ツールと して機能します。トポロジビューでサポートされる各デフォルトメトリクスタイプの詳細について は、「トポロジーダッシュボード」を参照してください。

トポロジビューについて

UIを使用すると、表示のズームイン、ズームアウト、フィット、パン、リセット、およびノードの展 開と折りたたみができます。

関連する+アイコンをクリックしてエンティティを拡大し、選択したエンティティ内の上位プロセスを 表示します。ホストを展開して、内部で実行されている個々のプロセスと対応するメトリクス値を表 示できます。ネットワーク接続を示すリンクは、選択した階層のエンティティ間、およびズームする とプロセスとエンティティ間で表示されます。マウススクロールホイールを使用してコンテンツを ズームし、左クリックしてドラッグしてウィンドウ内のマップコンポーネントを移動します。

トポロジビューでは、凡例と配色が使用されます。 このセクションでは、それらの意味を説明しま す。

- リンクの線幅(太さ)は、システム内の他の接続に対するメトリクス値を表します。スケーリング線の幅は、各リンクに関連付けられたメトリクス値に関連しています。トポロジビューは、各接続の記録データが変更されると、凡例を動的に調整します。
 - 細い黒い線(-):低いメトリクス値
 - 太い黒線(一):より高いメトリクス値
 - 破線(---):以前に存在した接続。たとえば、実線としてレンダリングされたノードA とBの間のアクティブな接続は、その接続が新しいデータセットにもう存在しない場 合、データの更新後に解消される可能性があります。Sysdig Monitorは、グラフから削 除する代わりに、次のデータ更新まで非アクティブな接続を点線で示します。後続の データ更新で接続が返されると、接続は再び実線でレンダリングされます。接続が存在 しない場合、その行は削除されます。





- 配色は、カスタマイズ可能なしきい値の色分けによって決定されます。ノードは5つの色で識別されます。
 - 緑色は、ノードが正常であることを示します。
 - 黄色は、ノードが警告状態であることを示します。
 - 赤は、ノードがクリティカル状態にあることを示します。
 - 灰色は、ノードの状態が不明であることを示します。通常、不明なノードは、Sysdig エージェントがインストールされていないノードを示します。
 - 水色は、メトリクスにしきい値が定義されていないことを示します。

トポロジビューの設定

Exploreからのアクセス

[Explore]メニューまたは[Dashboard]メニューから[Topology View]に移動できます。

エクスプローラで表示できるトポロジビューの種類は、単一のパネルのみを含む定義済みのダッシュ ボードテンプレートであり、編集できません。

- 1. [Explore]をクリックします。
- 2. [Explore]タブで、[Data Source]ドロップダウンメニューをクリックします。
- 3. ドロップダウンリストから目的のデータソースを選択します。
- 4. トポロジを表示するグループを選択します。
- 5. [Metrics and Dashboard]ドリルダウンメニューから、[Topology]を選択します。
- 6. 3つの定義済みダッシュボードのいずれかを選択します。

選択したメトリクスのトポロジビューが画面に表示されます。





ダッシュボードからのアクセス

トポロジビューのパネルを既存のダッシュボードに追加するか、ダッシュボードウィザードでトポロ ジビューの新しいダッシュボードを作成し、必要に応じてパネルを追加できます。

トポロジビューをパネルとして追加する

- 1. [Dashboards]をクリックし、[Search Dashboards]パネルから関連するダッシュボードを選択し ます。
- 2. Add panel アイコンをクリックします。

	Dashboards		Add Panal
Ø	Q Search dashboards	MVL	
EXPLORE	✓ My Dashboards	Everywhere	Edit Scope
My F dasi			My Panel
E CA			Metric cpu.used.percent AVG - Link Metric none Group by Select a label Topology
Al Tir Gr	cout this Chart ne: The average value of this metric is computed pup: The results are then averaged over the scope	for each entity over 1 hr (at 1 min intervals). e.	Scope everywhere - Cancel Save

- 3. [Topology]パネルを選択します。
- 4. 以下を指定します。
- Metric:トポロジビューで視覚化するメトリクスを選択します。
- Link Metric:ネットワーク関連のメトリクスを選択します。
- Aggregation: 集約タイプを選択します。
- Group by:トポロジビューの階層を作成するために、最大5つのラベルを設定できます。デフォルトでは、トポロジビューには、チームスコープに基づいたホスト名またはコンテナIDの2つのレベルがあります。
- Scope:パネルのスコープは、パネルを作成したチームのスコープと、グループ化オプション で選択されたラベルによって決まります。トポロジビューのスコープは、ダッシュボードのグ





ローバルスコープをオーバーライドします。スコープは、[Group by]オプションで指定されたラ ベルでのみ構築できます。

トポロジビューのダッシュボードを作成する

プレビルドダッシュボードのいずれかを、ダッシュボードウィザードのテンプレートとして使用でき ます。スコープ、集計、およびメトリクスを構成し、必要に応じて追加のパネルを追加できます。

- 1. [Dashboards]タブで、[Add Dashboard]ボタンをクリックします。
- 2. [Select a Dashboard]検索バーに「Topology」と入力します。
- 3. 3つの定義済みダッシュボードのいずれかを選択します。
- 4. ダッシュボードの名前を指定します。
- 5. [Create Dashboard]ボタンをクリックします。

新しいダッシュボードが[My Dashboards]の下のサイドパネルに追加され、設定の準備が整います。





事前定義されたダッシュボード

Sysdigは、ユーザーが環境とアプリケーションを監視するのを支援するために、事前定義された多数の ダッシュボードを提供します。このセクションでは、すぐに使用できるメインダッシュボードの概要 を説明します。

アプリケーションダッシュボード

ダッシュボード	説明	ユースケース
Elasticsearch	このビューには、ノード数と ドキュメント数、シャード、 インデックス作成時間、クエ リ待機時間に関する8つの重 要なメトリクスが一覧表示さ れます。	 クエリ時間に影響を与 える可能性があるた め、ノード数を追跡し ます。
HAProxy	このビューは、ホストCPU使 用率とプロキシスループット のメトリクスをレポートしま す。	
Redis	このビューは、ホストリソー スの使用率とアプリケーショ ンのパフォーマンスに関する 7つのメトリクスをレポート します。	





Cassandra By Node	このビューには、主要なシス テムメトリクスと、リクエス ト量や圧縮などのCassandra 固有のメトリクスを組み合わ せることにより、Cassandra クラスター内のすべてのノー ドのパフォーマンスが表示さ れます。	•	(「Cassandra Overview」ビューを使 用して)メトリクスに 問題わることで、 Cassandraクラスターこ のノあるている場々一こ のノーるかりラスターこ のノーるかりを問題認 で と 切して) が合って、 を で、 ど のので 要 名い不ンち る 物し い、 ま 確 ィー る 物 し て ン ま た に の の の の の の の の の の の の の の の の の の
Cassandra Overview	このビューは、主要なシステ ムメトリクススとリクエスト ボリュームや圧縮などの Cassandra固有のメトリクス スを混合することにより、 Cassandraクラスターのパ フォーマンスを示します。	•	デースの全体的 全性のトラブをついた。 によって、 の全性ティングをして、 として、 ののため、 たいで、 たいで、 たいで、 たいで、 たいで、 たいで、 たいで、 たいで



HTTP Top Requests	このビューには、リクエスト の合計数、リクエストを処理 する平均時間と最大時間、リ クエストとレスポンスに含ま れるトラフィック量など、 Webサーバーへの上位リクエ ストURLの詳細が表示されま す。	
MongoDB	このビューは、MongoDB サービスがどれほどビジーで あるか、どのコレクションが 最も需要が高く、どのコレク ションが最もパフォーマンス が遅いかを示します。	 クエリおよびインデッ クスのパフォーマンス チューニングの恩恵を 受ける可能性があるコ レクションを見つける ために使用します。
HTTP	このビューは、Webサーバー にかかる負荷と、サーバーが 要求にタイムリーにサービス を提供する能力を示すことに より、Webサーバーの正常性 の基本的な理解を提供しま す。	 サーバーの全体的なビジー状態を測定します。 [トップURL]パネルと[最も遅いURL]パネルの相関関係を特定して、パフォーマンスを向上させる機会を見つけます。
MySQL/PostgreSQL	このビューには、SQLデータ ベーストランザクションの全 体的な負荷とパフォーマンス ステータスが、リクエスト数 とそれらの処理速度に関する メトリクスとともに表示され ます。	 パフォーマンスを改善 できるかどうかを判断 します。
MySQL/PostgreSQL Top	このビューは、受信したクエ リの数とクエリで送受信され たトラフィックの量のメトリ クスを表示することにより、 上位のSQLクエリを表示しま す。	





コンプライアンスダッシュボード

ダッシュボード	説明	ユースケース
Compliance (Docker)	Dockerで利用可能なコンプラ イアンスメトリクスの概要を 提供します。	 CIS Dockerベンチマークテスト を実行した後、Docker構成を確 認します。
Compliance (Kubernetes)	Kubernetesで利用可能なコン プライアンスメトリクスの概 要を提供します	 CIS Kubernetesベンチマークテ ストを実行した後、Kubernetes クラスター構成を確認します。



ホストとコンテナのダッシュボード

ダッシュボード	説明	ユースケース
Overview by Container	定義されたスコープ内で実行されている コンテナのCPU、ファイルバイト、メモ リ、ネットワークバイトなどのリソース 使用統計を表示します。	 このビューを監視して、どのコンテナが不均衡な量のリソースを使用しているかを特定します。 アプリケーションをより高性能なホストに移動する必要があるかどうかを判断するのに役立ちます。
Overview by Host	定義されたスコープ内で実行されている ホストの、CPU、ファイルバイト、メモ リ、ネットワークバイトなどのリソース 使用統計を表示します。	 このビューを使用して、同様のジョブ機能を持つホストのグループ内でホストが使用されているか、使用されていないかを識別します。
Overview by Process	定義されたスコープ内で実行されている 上位プロセスの、CPU、ファイルバイ ト、メモリ、ネットワークバイトなどの リソース使用統計を表示します。	 このビューを監視して、不均衡な量のリソースを使用しているプロセスを特定します。 アプリケーションをより高性能なホストに移動する必要があるかどうかを判断するのに役立ちます。
Overview by Container Image	コンテナイメージの概要は、環境内のイ メージごとにリソース使用量のメトリク スを分類します。	
Container Limits	コンテナ制限ダッシュボードには、環境 全体のCPUおよびメモリの制限と、現在 使用されている割合が表示されます。	



Top Files	トップファイルダッシュボードには、環 境全体で最も使用されているファイルの 表が表示されます。 デフォルトでは、列 メトリクスは、使用された合計バイト 数、発生したエラー、およびファイルに 関連する入出力操作の合計時間です。	
Sysdig Secure Summary	サマリーダッシュボードは、アクティブ なエージェントの数、定義されたポリ シーの数と有効になっているポリシーの 数、およびポリシーイベントの要約情報 など、Sysdig Secure環境の完全な概要を 提供します。	
Top Processes	ホストで実行されている上位プロセスを リストします。	 同じプロセスが複数回生成 される環境で、最も消費量 の多いプロセスを特定しま す。
Sysdig Agent Summary	このビューは、環境にデプロイされてい るSysdigエージェントの数とそのバー ジョンを報告します。	
Top Server Processes	サーバー指向のプロセス(httpd、java、 ntpdなど)のリソース消費のみを表示し ます。	 このビューを使用して、 サーバープロセスのみのリ ソース使用量を確認します.





File System

このテーブルビューには、ディレクトリ マウントポイント、ファイルシステムデ バイス、およびインスタンスにマウント されたファイルシステムの容量と使用状 況の情報が表示されます。グループが選 択されている場合、メトリクスは同様の ファイルシステムマウントポイントの平 均です。

注意 リモートでマウントされたファイルシ ステムは、デフォルトではリストされ ていません。有効にするには、各イン スタンスの /opt/draios/bin/dragent.propertiesファ イルにエントリ「remotefs.enabled = true」を追加します。 どのファイルシステムが いっぱいになっているか、 十分に活用されていないか を特定します。

ネットワークダッシュボード

ダッシュボード	説明	ユースケース
Connections Table	接続テーブルダッシュボードに は、環境のローカルエンドポイン トとリモートエンドポイントの完 全なリスト、およびそれらのエン ドポイントに関連するすべての ネットワークトラフィックリソー ス統計が表示されます。	 このビューを使用して、 レビュー中のホストの ネットワーク上のトップ トーカーをすばやく見つ けます。
Overview	ネットワーク概要ダッシュボード は、総入力と出力、ホスト、アプ リケーション、プロセスごとに分 類されたトラフィックなど、環境 のネットワークトラフィックの広 範な概要を提供します。	





Response Times vs Resource Usage	ダッシュボードは、メモリとCPU の使用率、ネットワークの応答時 間、ネットワークとファイルの合 計バイト数など、指定された期間 にわたるさまざまな使用統計と応 答時間をマップします。	•	このビューを使用して、 レスポンスパフォーマン スに最も影響するリソー スを特定します。必要 に応じてこれらのリソー スを増やして、レスポン スレートが向上するかと うかを確認します。
Top Ports	上部のポートダッシュボードに は、各ポートへの接続数、着信、 発信、合計バイト数など、ポート 別に分類された統計が表示されま		

Kubernetesリソース使用率ダッシュボード

す。

Kubernetes *ヘルスダッシュボードは、さまざまな論理エンティティごとにリソースとパフォーマンス のメトリクスを分類し、詳細な分析を可能にし、重要な問題を特定して特定できるようにします。各 ダッシュボードは、レイテンシー、トラフィック、エラー、およびサチュレーションの監視に対する ゴールデンシグナルアプローチに基づいて構築されています。リソース使用率のメトリクスは、正常 性とパフォーマンスを対象としています。これらは、KubernetesオブジェクトによるCPU、メモリ、 ネットワーク、ストレージの使用状況などの側面です。kube-state-metricsはステータスまたはカウン トに関するものです。kube-state-metricsとリソース使用率メトリクスを組み合わせて、各ダッシュ ボードはKubernetes環境で何が起こっているかの包括的な情報を提供します。

ダッシュボード	説明	ユースケース
Kubernetes Cluster Overview	Kubernetesクラスターの概要を説明します。	 パフォーマンスのボトル ネックを特定します。 あまりにも多くのクラス ターリソースを消費して いる論理エンティティ、 または持続不可能なレベ ルに向かって急速に上昇 している論理エンティ ティを見つけます。





Kubernetes Deployment Overview	各デプロイメントに十分な数の利用可能な ポッドとリソースがあるかどうかを強調し、 実行中のポッドの数、希望するポッド、また は更新されたポッドの数を示します。	(الم
Kubernetes Namespace Overview	ネーススペースレベルでのリソースリクエス トやリソースリミットなどのメトリクスを表 示します。ポッド、デプロイメント、 DaemonSet、Statefulset、ジョブなどの Kubernetesエンティティのパフォーマンス、 およびreplicaSets仕様への準拠を識別しま す。ネームスペースごとのサービス、デプロ イメント、replicaSet、およびジョブの数を強 調表示します。	, ניק
Kubernetes Node Overview	準備ができている、使用できない、または ディスク外にあるノードの数を強調表示しま す。メモリ、ディスク、またはネットワーク	

の圧力下にあるノードの数。ノード上の割り 当て可能な容量と要求された容量を比較しま す。スケジューリングに使用可能なノードの ポッドリソースの数と、ノードで実行されて いるポッドを提供するために使用可能な容量 を提供します。

- 特定のエンティティを深 く掘り下げて、問題の根 本原因を特定します。
- 長期にわたる使用率を使 用して、拡張容量をより 適切に推定します。
- 利用可能なポッドがない デプロイメントは、対応 するアプリがリクエスト を処理していないことを 示します。この条件で ダッシュボードを取得す ることは、メトリクスを 視覚化し、問題を迅速に 見つけて解決するための アクションを開始できる ことを意味します。
- 使用可能なポッドの数を ドロップし、必要な数を 下回っていることは、ア プリケーションのパ フォーマンスが低下して いるか、必要な冗長性で 実行されていないことを 示します。ダッシュボー ドにこれらのメトリクス が表示されるため、アプ リのユーザーエクスペリ エンスへの影響の重大度 を一目で把握できます。
- 長期間に実行されるレプ リカの数が目的のレプリ カの数よりも少ない場合 は、ノードまたはリソー スが使用できない、 KubernetesまたはDocker Engineの障害、壊れた Dockerイメージなど、エ ンティティが適切に動作 していないという症状を 示しています。デプロイ メントオブジェクトのレ プリカがないと、アプリ がダウンしている可能性 があります。



Kubernetes Pod Overview	コンテナの再起動数、スケジュールされるの を待機しているポッドの数、各ポッド内のコ ンテナのリソース使用率、ポッド要求を処理 するための利用可能な容量、目的のポッドと 比較した利用可能なポッドの数をグラフ化す ることにより、潜在的なボトルネックを特定 するのに役立ちます利用可能な状態でリクエ ストを処理する準備ができているポッドの 数。	 ポッドの再起動の連続 ループ(CrashLoopBackOff)は、 依存関係の欠落、要件の 満たされていない、また はリソース不足に関連し ている可能性がありま す。CrashLoopBackOff では、ポッドが準備完了 状態になることはないた め、使用不可およびダウ ンとしてカウントされま す。
Kubernetes StatefulSet Overview	環境内のStatefulSetオブジェクトの概要.	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Kubernetes DaemonSet Overview	DaemonSetオブジェクトの概要	
Kubernetes Job Overview	すべてのジョブとパフォーマンス情報の概要	
Kubernetes ReplicaSet Overview	replicaSetごとのポッドの数、replicaSetごと のポッドの希望数、準備完了状態のreplicaSet ごとのポッドなどの詳細を提供します。	
Workloads CPU Usage and Allocation	ワークロードのリソース使用率を表示します	

Workloads	ワークロードのメモリ使用率を表示します。
Memory Usage	
and Allocation	



CPU Allocation Optimization	Highlights CPU allocation optimization.	
Memory Allocation Optimization	メモリ割り当ての最適化を強調しています。	
Kubernetes Health Overview	Kubernetes環境全体のパフォーマンスの包括 的な概要を提供します。さまざまな論理エン ティティと、基礎となるリソースの可用性と 使用状況によって分類されています。この ダッシュボードは、ポッド、ネームスペー ス、デプロイメント、replicaSet、コンテナな どの論理的なKubernetesエンティティによっ てリソースとパフォーマンスの kube-state-metricsを分類します。	 これら3つのダッシュ ボードを使用して、 Kubernetes環境のパ フォーマンスとリソース のサチュレーション状態 のすべての側面の概要を 提供します。 より詳細なダッシュボー ドに移動する前に、ハイ レベルのアラートを設定 して、関心のある領域を 絞り込みます。 各タイプのエンティティ 内の主要なパフォーマン スの問題をすばやく特定 します。





Kubernetes Cluster and Node Capacity CPU、メモリ、ファイルシステムの使用率、 ネットワークトラフィックなど、Kubernetes クラスターを形成するホストまたはノードの パフォーマンスの包括的な概要を強調表示し ます。 ダッシュボードを分析する前に、リソースの 使用に関する次のガイドラインを考慮してく

- ださい。
 - コンテナのリソースリミットが未定義 の場合、Kubernetesはデフォルトで値 を設定しません。
 - コンテナのリソースリクエストが指定 されていない場合、Kubernetesは明示 的に指定されている場合はデフォルト でLimitsに設定され、そうでない場合 は実装定義の値に設定されます。リ ミットはデフォルトではありません。

リソースリミットとリソースリクエストの両方が指定されていない場合、Kubernetesによってデフォルト値が設定されていたとしても、kube-state-metric(したがってSysdig Monitor)はゼロを報告します。したがって、kubernetes.pod.resourceRequests.memByteメトリクスによって報告される

mByteメトリクスによって報告される のは、ユーザー定義のリクエストのみ です。

 コンテナによって使用されるメモリ(memory.used.bytesによって返される 値)は、ポッドによって要求されるメ モリ(kubernetes.pod.resourceRequests.me mByteによって返される値)より大き くすることができます。これは

Kubernetesで許容されます。これは、 リスクエスト値によって必要な最小リ ソース量が決まるためです。

- これらの理由から、それは推論できる
 - 場合によっては、使用済みリソースの 値はリソースリスエストとリソースリ ミットの値よりも大きくなり、リソー スリスエストの値はリソースリミット の値よりも大きくなる可能性がありま
 - kubernetes.pod.resourceRequests.me mByte <= memory.used.bytes <=



kubernetes.pod.resourceLimits.memBy teの値

Kubernetes State ダッシュボード

Kubernetes*Stateダッシュボードは、Kubernetes環境の状態に関する洞察を提供し、コンテナベースのサービスが期待どおりにスケジュールされ、実行されていることを確認するのに役立ちます。

ダッシュボード	説明	ユースケース
Kubernetes State Overview (Deprecated in the 3.0.0 release.)	Kubernetes環境の状態の概要を提 供します。Kubernetesオブジェク トの数をリストし、各デプロイメン トに十分な数の使用可能なポッドと コンテナがあるかどうかを判断しま す。	 ノード、ポッド、およびジョブの状態を 監視します。 replicaSets仕様への 準拠を確認してくだ さい。リソースのリ クエストトリミット
Kubernetes Daemonset State (Deprecated in the 3.0.0 release.)	各デーモンセットが準備、スケ ジュール、スケジュール解除、およ び希望するポッドのリストを強調表 示します。	 シェストとりミクト を特定します。 長期にわたる使用率 を使用して、拡張 キャパシティをより 適切に推定します。
Kubernetes Namespace State (Deprecated in the 3.0.0 release.)	ネームスペースレベルで利用可能な Kubernetesオブジェクトの数を表 示します。ポッドの再起動回数 と、ポッドのステータスとポッド キャパシティの概要を提供すること により、潜在的なボトルネックを特 定します。	 各タイプのエンティ ティ内の主要なパ フォーマンスの問題 をすばやく特定します。 必要なポッドと比較して、使用可能な ポッドが十分にある
Kubernetes Resource Quota State	リソースのリミットとリクエストの 概要、およびレプリケーションコン トローラー、サービス、サービス ポート、サービスロードバラン サー、configMap、およびシーク レットの数を提供します。	かどうかを確認しま す。 利用可能なステータ スにあり、リクエストを処理する準備ができているポッドの数を決定します。 スケジューリングに使用できるノードのポッドリソースを監視します。





Kubernetes Pod State (Deprecated in the 3.0.0 release.)	準備ができているポッドの数、ポッ ドごとのコンテナの数、およびノー ドの総数を強調表示します。ポッ ドのキャパシティの概要には、ポッ ドの状態と対応するリソース使用量 が一覧表示されます。リソース使 用量は、潜在的な問題を識別するた めに色分けされています。	 ノー 容響で、 客響で、 rep tep
Kubernetes Stateful State (Deprecated in the 3.0.0 release.)	Statefulsetごとに準備ができている ポッドの数とコンテナを表示しま す。ポッドの再起動の回数、ス テートフルセットごとのポッド、お よび必要なポッドの数が強調表示さ れます。ポッドのキャパシティの 概要には、ポッドの状態と各 Statefulsetの対応するリソース使用 量が一覧表示されます。潜在的な 問題を識別するために、リソース使 用量は色分けされています.	
Kubernetes Nodes State (Deprecated in the 3.0.0 release.)	準備ができている、使用できない、 またはディスク外にあるノードの 数、メモリ、ディスク、またはネッ トワークの圧力下にあるノードの数 を強調表示します。ノードに割り 当て可能なリソースキャパシティを 表示して、ポッドを提供します。 ポッドキャパシティの概要を提供し ます。	
Kubernetes Deployment State (Deprecated in the 3.0.0 release.)	実行中のポッドとレプリカの数を示 します。希望、使用可能、一時停 止、使用不可、または各デプロイメ ントで更新されています。 各展 開、および関連するポッドとネーム スペースで使用可能なリソースキャ パティティ量を要約します。	

- ノードで要求された 容量に関して、割り 当て可能なキャパシ ティを特定します。
- replicaSetごとに必要 なポッドの数を決定 します。





サービスダッシュボード

ダッシュボード	説明	ユースケース
Overview by Service	サービス別の概要ダッシュボードには、コン テナイメージで実行されている各サービスの サイズ、パフォーマンス、およびリミットが 表示されます。	
Service Overview	サービス概要ダッシュボードは、使用してい るリソース、レスポンスタイム、コンテナと リクエストの数、およびレスポンスタイムを リソース使用率に対して測定する方法など、 単一のサービスの概要を示します。	

トポロジーダッシュボード

ダッシュボード	説明	ユースケース
CPU Usage	CPU使用率ダッシュボードは、 cpu.used.percentメトリクスを使用し て、CPU使用率が環境全体にどのよ うに分散しているかを示します。	 どのインスタンスが通信しているかを特定しますが、 Sysdig Monitorエージェントはインストールされていません
		 ●CPU使用率が上昇したと きに色分けされたビジーな ホストを見つけます。
Network Traffic	ネットワークトラフィックダッシュ ボードには、ネットワーク帯域幅が 環境全体にどのように分散されてい るかが表示されます。	 どのインスタンスが通信しているかを特定しますが、 Sysdig Monitorエージェントはインストールされていません
Response Times	レスポンスタイムダッシュボード は、net.request.time.inメトリクスを 使用して、環境内のプロセス間の平 均ネットワークトラフィック応答時 間を表示します。	





新規ダッシュボード

通知

新しいダッシュボードのサポートはベータ版です。

Sysdig Monitorを使用すると、フォームベースおよびPromQLベースのクエリをサポートする新しい機 能豊富なダッシュボードを作成できます。新しいダッシュボードは、PromQLクエリの実行のサポート に加えて、いくつかのユーザーエクスペリエンスの強化を提供します。

- パネルごとに複数のデータクエリ
- 基本(フォームベース)および高度な(PromQL)データクエリ
- 基本的なクエリ結果と履歴データを比較する
- クエリサポート:
 - 複数のメトリクスをクエリできます
 - クエリ(時系列)の結果を線、棒、積み上げ領域、階段などとしてレンダリングします。
 - 各クエリを個別にスコープおよびセグメント化する機能
 - ダッシュボードスコープの継承、拡張、またはオーバーライド
 - オーバーライドできるメトリクス記述子ベースのユニット
 - クエリユニットタイプに基づいて自動的にY軸を割り当て、オーバーライドする機能





新しいダッシュボードUIについて

図1.新しいダッシュボード



ウィジェット

新しいダッシュボードは、時系列(タイムチャート)、数値グラフ、表、およびトップリストをサポートしています。

タイムチャートと数値グラフはフォームベースと高度な(PromQL)クエリの両方をサポートします が、テーブルとトップリストパネルはフォームベースのクエリのみの構築をサポートします。

タイムナビゲーション

新しいダッシュボードは時間に基づいています。クエリが実行された後、Sysdig Monitorは10秒ごと にインフラストラクチャデータをポーリングし、ダッシュボードパネルのメトリクスを更新します。





この収集データを表示する方法を選択するには、プリセット間隔と時間範囲を選択します。



プリセット

プリセットは、Sysdig Monitorが10分ごとに収集するデータを視覚化する方法です。 プリセットを選 択して、表示するデータサンプルを決定します。 概要では、次のプリセットがサポートされていま す。

- 10秒
- 1分
- 10分
- 1時間
- 6時間
- 1日
- 2週間

プリセットは範囲選択と連動します。特定のプリセット間隔を選択すると、範囲の選択が更新され、 続いて概要行とイベントがリロードされます。例えば:

- 10分:範囲を12月9日午後2時20分から12月9日午後2時30分にリセットします。
- 6時間:範囲を12月9日午前8時30分~12月9日午後2時30分にリセットします。
- 1日:範囲を12月8日午後2時30分~12月9日午後2時30分にリセットします。

範囲

範囲には、日付と時間の両方の間隔、および選択したプリセットが括弧内に表示されます。UIに示される範囲は、プリセットによって決定されます。指定された時間は最も近い時間間隔であり、デフォルトでは、1時間で事前設定された現在の日時です。





[Range]タブをクリックしてカレンダーを開き、範囲を選択します。

Rangeがプリセットとどのように機能するかを理解するには、プリセットを参照してください。

ライブ

ライブバッジは、フィード(データを含む概要行)がライブかー時停止かを示します。

- ライブ: Sysdigバックエンドの10分間のポーリングに基づいて、データは継続的に更新されま す。通常、概要フィードは常にライブです。
- 一時停止:特定の行が選択されると、データの更新が一時停止し、新しいデータが入って行が 更新されません。

タイムフォーマット

新しいダッシュボードは、UTCおよびPDTの時刻形式をサポートしています。範囲の横にあるトグル ボタンを使用して、範囲に表示されるスロットの時間形式を変更します。デフォルトはPDTです。





パネルのプロパティ

- クエリ
- 軸
- 凡例
- パネル

クエリ

新しいダッシュボードを使用すると、フォームベースと詳細の2つの方法でクエリを作成できます。ク エリを作成し、[メトリクス]フィールドにキーワードを入力すると、オートコンプリートによりクエリ 内のメトリクスの候補が表示されます。

フォームベースのクエリ

UIフィールドを使用してクエリを作成します。フォームベースのデータクエリは、時間とグループの 集計、セグメンテーション、表示、受信データの両方の単位、Y軸でのデータの表示、およびスコープ を持つ1つまたは複数のメトリクスで構成されます。ダッシュボードスコープを継承することを選択で きます。

Unit for Incoming Data	Unit for Displaying	Scope	Unit & Y-Axis	Compare To	
		Dashboard Scope	data (auto)	None	
Unit data 🗸 KiB	~	Display Format	Decimals	y-Axis auto	

フォームベースのクエリは、Sysdigドット表記とPrometheus互換のアンダースコア表記の両方をサポートしています。





高度なクエリ

高度なクエリフィールドは、PromQLのみをサポートします。 次のようにPromQLクエリを手動で入力 します。

Display		Query	Unit & Y-Axis	
A Memory Heap Re	{{kubernetes_cl	<pre>sum(rate(promraw_go_memstats_heap_released_bytes_total[5m])) by(kubernetes_cluster_name)</pre>	percent (auto)	:
Query Display Name		Timeseries Name		
Memory Heap Released i	in Bytes	{{kubernetes_cluster_name}}		

各クエリはグループアグリゲーターで始まり、その後にタイムアグリゲーター、次にメトリクスとセ グメンテーションが続きます。 例えば:

sum(rate(promraw_go_memstats_heap_released_bytes_total [5m]))by(kubernetes_cluster_name)

軸を定義する

Sysdig Monitorは、グラフに2つのY軸を追加する柔軟性を提供します。また、それらを使用するかどう かを決定することもできます。追加のクエリを追加する場合は、追加のY軸ヘルプを追加するオプショ ンがあります。

Y軸とY軸右の両方に次を指定します。

- 表示:選択すると、グラフにY軸が表示されます。
- スケール:グラフにデータを表示するスケールを指定します。
- 単位:受信データのスケールの単位を指定します。
- 表示形式:Y軸に表示するデータのスケールの単位を指定します。
- Y-Max:Y軸に表示される最高値を指定します。これを範囲の最高点と考えてください。制限を 数値として指定できます。ただし、指定する値のタイプは、軸に沿った値のタイプと一致する 必要があります。Y-Maxは常にY-Minより大きくする必要があります。
- Y-Min:Y軸に表示される最小値を指定します。これを範囲の最低点と考えてください。両方の 制限を指定することも、一方の制限を指定して、軸にもう一方の制限を自動的に計算させるこ ともできます。





凡例を定義する

プロットされた時系列ごとに説明ラベルの付いた凡例が必要かどうかを判断します。場所とレイアウトを指定します。表示される値は、最後に計算されたデータである必要があります。

ラベルの場合、凡例では、[クエリの表示名]フィールドと[時系列名]フィールドで指定したテキストが 使用されます。

ر Timechart	Query	Axes	Legend	Panel
Show				
Display	Righ	t	~	
Layout	Table	e	~	
Show Value	🔽 Ci	irrent		

表示を有効にして凡例を表示するか、存在しない場合は凡例を作成します。

右は、パネルの右上隅に凡例を配置します。下部では、パネルの左下隅に凡例を配置します。





パネルを定義

[パネル]タブを使用して、パネルの見出しと説明を指定します。入力した説明は、パネル情報として次のように表示されます。



新しいダッシュボードを設定する

通知 新しいダッシュボードのサポートはベータ版です。

Sysdig Monitorは、フォームベースとPromQLベースの両方のクエリをサポートしています。 クエリを 実行するだけで、Sysdig Monitorはダッシュボードを作成します。ダッシュボードは、好みに応じてカ スタマイズできます。

ダッシュボードを作成するには:

- 単純なクエリまたは高度なクエリを作成します。
- 左右のY軸を定義します。
- 凡例を定義します。





パネルのタイトルと説明を設定します。

単純なクエリの構築

視覚化のタイプごとに異なる設定があり、クエリフィールドはタイプによって決定されます。 デモの ために、このトピックでは折れ線グラフを作成する手順を説明します。

1. [ダッシュボード]タブで、[ダッシュボードの追加]をクリックします。

Dashboards	+ Add dashboard
Q Search	

2. [ベータダッシュボード]をクリックします。

[ベータダッシュボード]をクリックすると、avg (avg (cpu.used.percent)) メトリクスのデ フォルトのベータダッシュボードが開きます。

- 3. 視覚化タイプを選択します。詳細については、パネルのタイプを参照してください。
- 4. タイムナビゲーションから適切なタイムプリセットを選択します。
- 5. 次のようにメトリクスを選択します。

المجر Timechart	Query Axes Legend Panel	
Display	Metrics	Segmentation
A Promethe	us API Server Admission avg(avg(promraw	apiserver_admissio None
	Metric	Time Aggregation Group Rollup
	promraw.apiserver_admission_controller_a 🗸	Average V Average V X
	admission_quota_controller_depth	Clear All
	admission_quota_controller_queue_latency.5	
🕂 Add Query	admission_quota_controller_queue_latency.9	
	admission_quota_controller_queue_latency.c	
	admission_quota_controller_work_duration.9	
	admission_quota_controller_work_duration.9	

時間の集計とグループのロールアップを指定します。

6. [表示]フィールドで表示テキストを指定します。





テキストは凡例のタイトルとして表示されます。

Nov 8, 12:20:00 PM	value
Prometheus API Server Admission Controller	
avg(avg(promraw.apiserver_admission_controller_admission_la	6.84 M

7. 適切なセグメンテーションを指定します。

Segmentation					
kubernetes.cluster.id					
Segment By			Display		
kubernetes.cluster.id	~	AND $ imes$	Тор	~	10
Select a label	~	Clear All	Тор		
Apply to All Queries			Bottom		

エンティティの数と、凡例に表示される順序を入力できます。

注意 番号パネルには適用されません。

8. 作成するダッシュボードのスコープを指定します。

		Scope	Unit & Y-Axis	Comp
		Dashboard Scope +1	number (auto)	Non
Inherit Dashboard Sc	ope			
kubernetes.cluster.id	in	5d5c9b49-9b4c-11e8-	911f-0a3a × 🗙 🗸 🗸	and 🗙

ダッシュボードスコープをそのまま継承するか、選択したエンティティのセットのみにスコー プを適用するかを選択できます。





9. Y軸のスケールの単位と表示形式を指定します。

		Unit & Y-Axis	
		data (auto)	
Unit	Display For	mat Decimals	

注意 タイムシリーズパネルにのみ適用可能。	

10. オプションで、データを履歴データと比較します。

		Compare To
		10 hours
Enable	Range Offset	
	10	Hour 🗸 AGO
		Hour
		Day
		Month
		Year

セグメンテーションが適用される場合、メトリクスを履歴データと比較することはサポートされていません。

高度なクエリの構築

現在、Advanced QueryフィールドはPromQLクエリのみの実行をサポートしています。

1. ベータダッシュボード画面で、次のいずれかを実行します。





- ダッシュボードにパネルが存在しない場合は、[ダッシュボードの追加]をクリックします。
- ダッシュボードに新しいパネルを追加する場合は、[パネルを追加]をクリックします。
- 2. [高度なクエリ]ボタンをクリックします。



[高度なクエリ]パネルが表示されます。

3. 次のようにクエリを入力します。

Display	Query
	<pre>sum(rate(promraw_go_memstats_heap_released_bytes_total[5m])) by (kubernetes_cluster_name)</pre>
	Close Run Q

この例では、5分間の間隔でバイト単位で解放されるメモリヒープのレートが計算され、次に各 Kubernetesクラスターで合計レートが計算されます。

4. 目的の時間枠を選択します。

S 10:00 am - 11:00 am Last 1 hour 10 S 1 M 10 M 1 H 6 H 1 D 2 W

5. 凡例の説明的なタイトルと時系列の名前を指定します。

Query Display Name	Timeseries Name	
Heap Released in Bytes	{{kubernetes_cluster_name}}	

イメージに示すように変数を指定できます。 変数名は、凡例のKubernetesクラスター名に置き 換えられます。





6. 受信データの単位とデータの表示方法を指定します。

luery							Unit & Y-Axis	
<pre>rate(promraw_go_memstats_heap_released_bytes_total[5m])</pre>						data (left)	:	
	Unit			Display Forma	it	Decimals	y-Axis	
	data	✓ В	~	auto	~	0	left	~

たとえば、受信データをキロバイト単位で収集してメガバイトとして表示するように指定できます。

また、グラフ上のY軸の位置を決定します。追加のクエリがある場合、グラフに追加のY軸を配 置する柔軟性が役立ちます。

7. [保存]をクリックして変更を保存します。

PromQLを使用する

通知

PromQLサポートはベータ版です。

Prometheusクエリ言語(PromQL)は、Prometheusメトリクスデータをクエリするためのデファクト です。PromQLは、ユーザーが時系列データを選択して集約できるように設計されています。

Sysdig MonitorのPromQLサポートには、標準のオープンソースPromQLのすべての機能、および集約 が含まれます。PromQL言語は、Prometheus Query Basicsで文書化されています。

PromQLを使用するためのガイドライン

- PromQLはベータ版です。ご使用の環境でPromQLを有効にするには、beta@ sysdig.comの Sysdigサポートにお問い合わせください。
- 現在、高度なクエリはPromQLクエリの実行のみをサポートしています。





- 現在、PromQLクエリの実行に使用できるのはPrometheusメトリクスのみです。
- 現在、Prometheusメトリクスはpromraw_というプレフィックスで表示されます。

クエリの構築

高度なクエリモードを使用する場合にのみ、Prometheusメトリクスをフィルタリングし、ダッシュ ボードを構築できます。 高度なクエリモードでは、PromQLクエリを直接実行します。 演算子と関数 を使用して、複雑なフィルタリングを有効にします。

PromQLクエリを構築する





表示:凡例のわかりやすい表示名を指定します。入力したテキストは、凡例に表示されるメトリクス名を置き換えます。デフォルトの凡例タイトルはメトリクス名です。





クエリ: PromQLクエリを直接入力します。例えば:

sum(rate(promraw_go_memstats_heap_released_bytes_total[5m]))by(kubernetes_cluster_name)

コンストラクトでは、次を指定します。

- メトリクス:目的のメトリクスを検索します。フィールドはオートコンプリートをサポート しています。テキストを入力すると、入力した残りのテキストが予測されるため、メトリク スを簡単にフィルタリングできます。例:promraw_go_memstats_heap_released_bytes_total
- セグメンテーション:データを正確に制御するために、集約されたデータをラベルで分類するプロセスです。集約されたPromQLデータをセグメント化するための適切な値を選択します。この例では、kubernetes_cluster_name

PromQLクエリフィールドは、次の変数をサポートしています。 Prometheusエンドポイントにデータ 要求を発行する前に、実行時にUIで両方の変数が置き換えられます。

- \$_range:時間ナビゲーションで現在選択されている時間範囲に置き換えられます。ライブ モードでは、新しい時間範囲を反映するために常に更新されます。
- \$__interval:選択された時間範囲に基づいた時間サンプリングに置き換えられます。それがあなたがそれを直接制御しないことを意味するもの。たとえば、1時間のデータを見ると、サンプリングは1分になります。サンプリングは、データのロールアップに関してバックエンドコンポーネントによって公開された情報に基づいて計算されます。
- 単位とY軸:スケールの単位と表示形式を指定します。
- 比較先: (フォームベース)現在の値を履歴値と比較できます。セグメンテーションが指定されている場合はサポートされません。
- 軸:Y軸のスケール、単位、表示形式、およびゲージを決定します。説明については、新しいダッシュボードの構成を参照してください。
- 凡例:ダッシュボードでの凡例の位置を決定します。説明については、新しいダッシュボードの構成を参照してください。
- パネル:名前を指定し、パネルに関する詳細を追加します。説明については、新しいダッシュボードの構成を参照してください。





スクリプトを使用してダッシュボードを保存およ び復元する

Sysdig Monitorは、ユーザーが既存のダッシュボードをローカルに制御されたファイルに保存し、以前 に保存されたものと同じ新しいダッシュボードを作成する機能をユーザーに提供します。これは、 SysdigのPythonクライアントライブラリのサンプルスクリプトを使用して実行できます。保存スクリ プトは、アクティブなアカウントの現在のすべてのダッシュボードを.zipアーカイブに保存し、復元ス クリプトはアーカイブ内のすべてのダッシュボードをダッシュボードのリストに追加します。

復元スクリプトは、保存スクリプトと同じアカウントをターゲットにする必要はありません。これに より、ダッシュボードを1人のユーザーから保存し、複数のユーザーに復元できます。

警告

ダッシュボードを復元しても、ユーザーの既存のダッシュボードは上書きされません。代わりに、 新しいダッシュボードがリストに追加されます。

このスクリプトを厳密にバックアップ/復元の容量で使用する場合、復元アクションが完了する前ま たは後に、ダッシュボードをアカウントから手動で削除する必要があります。

前提条件

スクリプトの保存と復元には、次の前提条件があります。

- Python 2.x (2.7.x)
- pipバージョン1.3以降

注意 pipは、バージョン2.7以降のPythonパッケージの一部としてインストールされます

virtualenv(推奨)





ライブラリとサンプルスクリプトは、Sysdig GitHubリポジトリ (https://github.com/draios/python-sdc-client) で入手できます。

スクリプトをダウンロードする

スクリプトのローカル環境を構成するには:

- リポジトリからpythonクライアントの.zipアーカイブをダウンロードして解凍するか、リポジト リのクローンを作成します。
- 2. sysdig @ user : ~\$ git clone https://github.com/draios/python-sdc-client.git
- 3. ターミナルで、ディレクトリに移動します。
- 4. 必要に応じてPython環境を構成します。

注意 Pythonに慣れていない場合、Sysdigはpipおよびvirtualenvを介してセットアップすることを お勧めします。 sysdig@user:~\$ mkdir -p ~/workingdir/venv # declare where you want all python tools installed sysdig@user:~\$ sudo virtualenv ~/workingdir/venv # prepare the workspace -- this may download several things sysdig@user:~\$ source ~/workingdir/venv/bin/activate # cause all python tools to use this workspace from now on (venv) \$ # at this point the prompt reminds us we're in the virtual environment # install the sdcclient library into the venv (venv) \$ pip install .

sdcclientモジュールがPythonで利用可能になりました。

Pythonスクリプトですべてのダッシュボードを保存する

ダッシュボードを保存するには:

- 1. ターミナルで、スクリプトのダウンロードで設定された仮想環境にアクセスします。
- API_TOKENを関連するユーザーのAPIトークンに置き換え、SAVED_DASHBOARDS.ZIPを目的のzipファイル名に置き換えて、スクリプトを実行します。





(venv) \$ sudo python examples/download_dashboards.py API_TOKEN SAVED_DASHBOARDS.ZIP Dashboard name: JVM, # Charts: 5 Finished writing dashboard data in zip format to SAVED_DASHBOARDS.ZIP

詳細については、Sysdig APIトークンの取得を参照してください。

Pythonスクリプトを使用してダッシュボードを復元する

.zipアーカイブからダッシュボードを復元するには

- 1. ターミナルで、スクリプトのダウンロードで設定された仮想環境にアクセスします。
- 2. API_TOKENを関連するユーザーのAPIトークンに、SAVED_DASHBOARDS.ZIPを正しいzipファ イルに置き換えて、スクリプトを実行します。

(venv) \$ sudo python examples/restore_dashboards.py API_TOKEN SAVED_DASHBOARDS.ZIP
Dashboards pushed.
(venv) user@server:~/python-sdc-client\$

